令和６年度　大河原地方振興事務所の主要事業

資料７－１

１　仙南が誇る多様な地域資源を活用した観光・交流の推進

（１）広域観光・物産情報の発信強化

①ＳＮＳを活用した観光ＰＲの強化
- 「ＳＮＳ情報発信戦略会議」を所内に立ち上げ、外国人旅行者へのアンケートによるニーズ調査、ＳＮＳの英語発信など、投稿テーマやターゲットを絞り、戦略性を持った情報発信に努めた。
- ＳＮＳキャンペーンの実施
  情報発信強化策として、仙南地域の特産品が抽選で当たるキャンペーンを8月、2月に実施

②「ひなの郷せんなん」
- ポスター及びチラシによる管内ひな祭りイベント、周遊コースなどの一体的広報

③「みやぎ仙南応援大使」による地域の魅力のＰＲ
- アイドルグループの新井ひとみさん（委嘱第1号）によるＳＮＳでの情報発信
- 圏域の市町を周遊し、応援大使として当所周遊事業のPRを実施（8月）
- 地場産品を贈呈し、圏域の食の魅力を広くPRしていただくことにつなげた。

（２）仙南地域の観光を支える人材育成(R5～R7)

仙南地域観光人材育成講座の開催
- 地域の観光に関わる実務者層を対象に、昨年度の内容からステップアップしたセミナーを2回開催し、希望者には伴走支援を実施
- 大河原産業高校1年生を対象とした講座を6回開催し、実務者と高校生の合同講座を1月末に開催

（３）広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化

①「至福のスイーツトリップスタンプラリー」（8～11月）
- 宮城県、山形県、福島県３県の広域周遊を促進するため、地域のスイーツを切り口とした観光施設の周遊企画を実施
  参加者：1,649人　応募数181件

②道の駅等と連携したスイーツマルシェ開催、みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の普及促進【拡充】
- 管内道の駅等と連携したスイーツイベントを3回開催
- 3県連携「道の駅ふくしま　つながるフェスタ」 11/3
- 「地域の逸品」販売店舗での販促PRグッズ掲示、県庁広報展示室での展示及び販売会開催による認知度向上

③ みやぎ蔵王温泉郷振興事業【新規】
- 「湯めぐりにゃんこけし」を活用したインスタフォローキャンペーンを12月、2月に実施

④「県南ご当地キャラクターを探せ！2024」（7～9月）
【仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会事業】
- 市町キャラクターによる周遊型謎解きスタンプラリーを実施　応募総数：1,201通（過去最多）

（４）観光地域づくりチャレンジ事業

仙南　冬のスタンプラリー
～ひな祭り×温泉×スキー×ジオパークを巡る旅～【新規】
- 閑散期となる冬季の誘客促進策として、ひな祭りイベント、日帰り温泉施設、スキー場、ジオパークセンター、物販施設を巡るスタンプラリーを実施（2/1～3/14）
- 「ひなの郷せんなん」と連携した広報

２　人口減少・少子化等地域対策強化事業［Ｒ４～Ｒ６］

仙南アドベンチャーツーリズム推進事業

子育て世代の流入促進、関係人口の拡大、周遊促進を図るため、仙南地域の「こどもが自然体験できる魅力的な遊び場」を周知広報
- 仙南地域のアクティビティコンテンツ一覧をWEBサイトに掲載
- 仙台圏の子育て世帯向けに、当該WEBサイトに誘導するためのリーフレットを制作し、一体的な広報を実施

仙南地域シビックプライド育成推進事業

小中学生を対象に、地元の産業について学ぶ機会を設け、地元への愛着心を醸成
- 白石市、角田市、柴田町、川崎町、丸森町
  （9プログラム計23回）